ろ、基金の募集　　3.大阪支店への交渉

ホ、犠牲者＝二十九名＝騒擾罪二十八名＝傷害罪一名現在服役中、

二、東洋紡績四貫島工場争議　　大勝利解決

イ、争議の原因、組合圧迫、不当解雇、

ロ、発生、昭和二年十月二十日

ハ、解決、十一月十五日、

ニ、主なる応援方法＝１、山内、大矢氏等聯合会闘士総動員、

２、批判演説会、　３、町民大会、　４、基金募集、５、関係工場へのビラ[illegible]

ホ、犠牲者＝一名＝騒擾罪＝鶴五三吉現在服役中

三、大日本紡績[illegible]工場争議　　大勝利解決

闘争手段を延長して全国の紡績工場にビラを撒布する等、前後演説会、

及聯合会独自のビラを配布して基金を徴収した。

四、水和争議（福井県）　　大勝利解決

吉田、八谷、両君出張、

五、野田醤油争議

イ、米原君出張　組合圧迫干渉、　　継続中

ロ、発生、昭和二年九月十四日

ハ、応援の主なるもの＝１、東甲新聞のボイコットのビラ十万枚大阪市内に散布、２＝批判演説会開催、　３、基金発送。

政治部

政治部の活動は又甚だ目覚ましく今度の府県会議選挙、市会議選挙の結果によることが出来る、別表の様に現はれたる如き社会民衆党、[illegible]展け八事に各組合政治部の協力と共に本党支部の活動の賜物である。別に、社会民衆党各支部の現在を表すことを[illegible]たが何れにしても全国的大衆党としての面目を[illegible]（選挙戦績は別表参照）に聯合会執行委員会、委員会と協力してある。

宣伝組織部

メーデー宣伝及び宣伝デーを期として段階的な宣伝を挙行しつゝある。総選挙の戦績を利用して五万のビラを作成して労働組合の協力の下に徹底的宣伝が計画され敢行されつゝある。

宣伝組織部の主なるもの＝部会、各団、

ハ、モラトリアム明けに準備せるビラ、作成大阪全市に之を配布。

ニ、紡績操短反対、労働者組織せよ!!のビラ二万を関西地方の紡績工場に配布、

3、大日本紡績、東洋紡績、中国製紙等の争議を機縁として全国的に活動を開始して。

イ＝福井方面の組織
ロ＝広島方面の宣伝
ハ＝福山地方の組織
ニ＝徳島地方の組織
ホ＝向島地方の宣伝

等を積極的に敢行した、其の具体的現れとして福井労働、広島合同、福山労働、向島労働徳島労働の組織を見た。

4、総選挙を経へて組合に注入れ!!のビラを全市に撒布して非常なる効果をおさめた。即ち、

イ、大阪鉄管支部組織、ロ、南恩加島支部の組織、ハ、泉鉛管支部の組織、